

# 令和6年度事業計画書

昨年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症となり、元気に活動するスカウト達の姿が見られるようになりました。

昨年は、スカウティング新世紀の最初の年に当たり、特に「社会との共同」を意識した活動がなされました。

今年度奈良県連盟においては、Creating Better Worldを目ざしてスカウト活動の活性化を図ろうとしておられます。その一環として、各隊のプログラム活動に寄与できる事業の実施、効果的な指導者訓練や団の経営能力の向上など積極的に取り組んで行かれます。

振興会としましては、資金面では厳しい状況ではありますが、奈良県連盟事業にできる限り支援を行って行くことと致します。

## 《事業の骨子》

- (1) ボーイスカウト運動の普及・広報の強化
- (2) 法人の運営体制の強化
- (3) 事業資金調達の強化
- (4) ボーイスカウト奈良県連盟の実施する事業への資金助成

## 《事業の詳細》

### (1) ボーイスカウト運動の普及・広報の強化

- ① 一般参加可能の事業拡大を図る県連盟への事業助成を通じ、この運動の普及を図る。
- ② この運動の素晴らしさを説き、子を持つ親達にスカウト活動に参加を促すような広報活動を実施する。(県連盟ホームページの充実、広報紙の発行等)

### (2) 法人運営体制の整備、強化

- ① 法人役員、評議員等の法人基盤強化のための運営関与の強化。  
(公益法人の理事、監事、評議員の役割必携の配布など)
- ② 本年度は、理事8名(菊池理事・大浦理事・木堂理事・小林理事・伊瀬理事・佐藤理事・辻村理事・山田理事)が任期満了を迎えます。  
また、評議員6名(麴谷評議員・中村評議員・辻村評議員・倍巖評議員・前田評議員・田中評議員)並びに中垣監事が任期満了を迎えます。  
全員に再任をお願いすると共に、退任やむを得ない場合は、新規に就任をお願いするなど、より充実した理事会運営を行いたく考えております。

### (3) 事業資金調達の強化

既存維持員の退会等による減少をカバーし、より一層の寄付金による資金調達を図るため、次に掲げる施策を講じます。

- ① 理事、評議員に維持費口数増加をお願いする。
- ② 理事、評議員等に知人や取引先等への寄付金拠出の紹介をお願いする。
- ③ 広報紙「フィールド・オブ・ライフ」にボーイスカウト振興会への寄付依頼を掲載。
- ④ 広報紙「フィールド・オブ・ライフ」と「年次報告書」を同封し、令和6年度の維持費の依頼を6月中旬に発送する。秋にも広報紙を送り理解を深めて頂く。

### ※ 本年度の資金調達計画

種 別	本 年 度 目 標		前 年 度 目 標		前年度比増減	
	人(社)	金 額	人(社)	金 額	人(社)／口数	金 額
指定寄付金	0	0	0	0	0	0
一般寄付金	0	0	0	0	0	0
通常維持費	2	12,000	3	15,000	0	△ 3,000
賛助維持費	112	1,588,000	112	1,485,000	2	103,000
合 計	114	1,600,000	115	1,500,000	2	100,000

※ 令和5年度末予想は、1537千円の見込み。

### (4) ボーイスカウト奈良県連盟の実施事業に対する助成

#### <助成事業の概要>

- ① 一般公開事業を含む普及・広報事業への助成
- ② 一般公開事業を含む大会開催事業や指導者養成事業への助成
- ③ はやまの森野営場の施設改修事業への助成
- ④ その他県連盟の実施する事業への助成

#### <助成事業の細目>

対 象 事 業 名	事 業 の 内 容
(1) 普及・広報事業( 390千円:前年比+70千円)	
広報誌発行	機関紙「フィールド・オブ・ライフ」4月・10月の年2回 各5,000部弱発行、印刷等助成。
団経営研鑽会	ボーイスカウト運動の基盤である「団」の運営に係わる研究と意見交換会。年2回 6月・12月に開催予定。
防災キャラバン	公開事業として、年2回イオンと共催し、イオンモール大和郡山店ほか1会場でスカウト技能を災害への備えに活用する方法を楽しく伝える。
田原本防災フェスティバル	田原本町と奈良トヨタ(株)共催で災害時に役立つボーイスカウト技能体験や消防車両等の展示を行う。



<b>(2) 指導者養成事業(160千円:前年度比+20千円)</b>	
ボーイスカウト講習会	公開事業。18歳以上の加盟員・一般を対象にスカウト運動を広く理解するための導入講習会。年間4回県内4カ所で開催。(4月・6月・6月・12月)
団委員研修所	団運営に係わる団委員長をはじめ団委員に対する研修。5月4日～6日
アダルトリーダーキャンプ2024	公開事業。18歳以上の加盟員、一般を対象にキャンプ技能やスカウト技能の講習。
<b>(3) 大規模集会開催・派遣事業(170千円:前年比+70千円)</b>	
第67回 奈良県大会	一部公開事業。毎年1回、4月に行われる県下全加盟員の親睦、交流を目指すスカウトの祭典。今年は奈良大学講堂にて開催。
スキルチャンピオンシップ	スカウト達のスカウト技能向上のため、県下のスカウトが集まり日ごろの訓練の成果を競う集会。(9月 はやまの森野営場)
パイオニアキング	技能習得を目指すスカウトへの技能訓練(10月)
<b>(4) 安全対策事業(80千円:前年比+40千円)</b>	
	医療器具や医薬品等の更新購入
	AED訓練用人形の修理
<b>(5) 野営場運営事業(500千円:前年比同額)</b>	
はやまの森野営場整備	野営場利用者の利便性を向上させるため野営場や施設等の整備、ナラ枯れ樹木の処理等を行う。

本年度のボーイスカウト奈良県連盟の実施する事業への助成額は1,300,000 円で、前年度より200千円増額となります。

**(5) 山村野営場保有・貸与事業(150千円:前年同額)**

- ① 施設等の補修改修程度の経費として、50千円を見込みました。
- ② 野営場の管理、運営については、前年度に引き続き、ボーイスカウト奈良県連盟に委託をお願いし、管理委託費として100千円を計上しました。

**【その他】**

(1) 本年度機関運営として下記の通り開催を予定します。

- (1) 理事会を4回(5月、5月、10月、2月)うち5月下旬は、代表理事選考理事会。
- (2) 評議員会を3回(5月、11月、3月)うち5月は定時評議員会他は臨時評議員会。
- (3) 正副理事長会議を必要に応じて開催。
- (4) 県連事務局の一部を事務所として使用させて頂くと共に、県連事務局の電話、FAX、会議室等の施設を利用させて頂く。(有償)

(II) 本年度の資金調達及び運用方針

(1) 収入

① 基本財産運用収益	230,000円
② 財団維持員より受ける維持費	1,600,000円
③ 指定正味財産より振替	200,000円
収入合計	2,030,000円

(2) 支出

① 公益事業(1) 支払助成金	1,300,000円
② 公益事業(2) 野営場事業	150,000円
③ 法人管理費用	680,000円
支出合計	2,130,000円

(3) 差引収支差額(1)－(2)＝△100,000円の収入減の見込みとなります。  
減収額は、一般正味財産より充当します。

◎ なお、新たに行う設備投資及び資金の借り入れは計画しておりません。

以上

# 令和6年度収支予算書

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当期予算額	前年度予算額	前年比増減	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	230,000	230,000	0	一般正味財産へ振替
特定資産運用収益	10	20	△ 10	特定事業準備積立金受取利息
受取寄付金	1,600,000	1,500,000	100,000	
一般寄付金	0	0	0	使途指定のない一般寄付金
通常維持費	12,000	15,000	△ 3,000	
賛助維持費	1,588,000	1,485,000	103,000	
受取利息	20	10	10	普通・特定(法人) 預金利息
雑収入	0	0	0	
特定資産(指定寄付金)振替	200,000	200,000	0	指定財産取崩一般正味財産へ振替
経常収入計	2,030,030	1,930,030	100,000	
(2) 経常費用				
公益事業費				
助成事業費	1,300,000	1,100,000	200,000	県連盟への助成事業
普及・広報事業	390,000	320,000	70,000	
指導者養成事業	160,000	140,000	20,000	
諸集会開催・派遣事業	170,000	100,000	70,000	
安全対策事業	80,000	40,000	40,000	
はやまの森野営場事業	500,000	500,000	0	
野営場保有・貸与事業	150,000	150,000	0	山村野営場貸与事業
減価償却費	0	0	0	
施設整備費	50,000	50,000	0	補修費の見込み
管理委託費	100,000	100,000	0	
公益事業支出計	1,450,000	1,250,000	200,000	
法人管理費				
給料	20,000	20,000	0	事務職給与
会議費	40,000	40,000	0	理事会、評議員会 各3会場費
施設使用料	120,000	120,000	0	事務局施設使用料
交通費	100,000	80,000	20,000	事務局通勤費
通信運搬費	70,000	70,000	0	各種郵便料・クロネコDM便等
複写機リース・コピー代	80,000	65,000	15,000	複写機リース代、コピー代
消耗品費	15,000	15,000	0	事務用品・コピー用紙
印刷製本費	80,000	170,000	△ 90,000	年次報告書、封筒、諸用紙代等
支払手数料	15,000	15,000	0	寄付金受取手数料等
厚誼慶弔費	30,000	30,000	0	慶弔電報・手土産等
減価償却費	0	0	0	
雑支出	110,000	100,000	10,000	共同サイト掲載・登記費用等
法人管理費計	680,000	725,000	△ 45,000	
経常費用計	2,130,000	1,975,000	155,000	
評価損益調整前当期経常増減額	△ 99,970	△ 44,970	△ 55,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 99,970	△ 44,970	△ 55,000	

科 目	当期予算額	前年度予算額	前年比増減	備 考
2. 経常外損益の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 99,970	△ 44,970	△ 55,000	
一般正味財産期首残高	2,501,157	2,217,100	284,057	3月末決算数字
一般正味財産期末残高	2,401,187	2,172,130	229,057	
II. 指定正味財産増減の部				
1. 指定正味財産増加の部				
基本財産運用収益	230,000	230,000	0	ソフトバンク社債運用収益及び
受取寄付金	0	0	0	三菱HCキャピタル社債運用収益
基本財産指定寄付金	0	0	0	
その他の指定寄付金	0	0	0	
指定正味財産増加計	230,000	230,000	0	
2. 指定正味財産減少の部				基本財産運用収益を公益目的事業に使用、
一般正味財産へ振替	430,000	430,000	0	取崩金は法人管理費に充当の為振替
指定正味財産減少計	430,000	430,000	0	
当期指定正味財産増減額	△ 200,000	△ 200,000	0	
指定正味財産期首残高	40,400,000	40,600,000	△ 200,000	3月末決算数字
指定正味財産期末残高	40,200,000	40,400,000	△ 200,000	
III. 正味財産期末残高	42,601,187	42,572,130	29,057	

※ 説明事項

(1) 指定正味財産減少 200,000円は、法人管理指定寄付金のうち当該年度分を法人会計に繰り入れ充当する。

(2) 基本財産運用収益は、そのすべてを公益事業に使用するため一般財産に振替える。

# 令和6年度収支予算書（内訳表）

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	助成事業	野営場事業	共通	公益事業計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益			230,000	230,000		230,000
特定資産運用収益	10			10		10
受取寄付金			960,000	960,000	640,000	1,600,000
一般寄付金			0	0	0	0
通常維持会費			7,200	7,200	4,800	12,000
賛助維持会費			952,800	952,800	635,200	1,588,000
受取利息			0	0	20	20
雑収入			0	0	0	0
特定資産（指定寄付金）振替			0	0	200,000	200,000
経常収益計	10	0	1,190,000	1,190,010	840,020	2,030,030
(2) 経常費用						
公益事業費						
助成事業費	1,300,000					
普及・広報事業	390,000			390,000		390,000
指導者養成事業	160,000			160,000		160,000
諸集会開催・派遣事業	170,000			170,000		170,000
安全対策事業	80,000			80,000		80,000
はやまの森野営場事業	500,000			500,000		500,000
野営場保有・貸与事業		150,000				
減価償却費		0		0		0
施設整備費		50,000		50,000		50,000
管理委託費		100,000		100,000		100,000
公益事業支出合計	1,300,000	150,000	0	1,450,000	0	1,450,000
法人管理費						
給料					20,000	20,000
会議費					40,000	40,000
施設使用料					120,000	120,000
交通費					100,000	100,000
通信運搬費					70,000	70,000
複写機リース代					80,000	80,000
消耗品費					15,000	15,000
印刷製本費					80,000	80,000
支払手数料					15,000	15,000
厚誼慶弔費					30,000	30,000
減価償却費					0	0
雑支出					110,000	110,000
経常費用計	1,300,000	150,000	0	1,450,000	680,000	2,130,000
評価損益調整前当期経常増減額	△ 1,299,990	△ 150,000	1,190,000	△ 259,990	160,020	△ 99,970
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,299,990	△ 150,000	1,190,000	△ 259,990	160,020	△ 99,970

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	助成事業	野営場事業	共通	公益事業計		
II. 経常外増減の部						
1. 経常外収益						
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
2. 経常外費用						
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0
固定資産除去損	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,299,990	△ 150,000	1,190,000	△ 259,990	160,020	△ 99,970
一般正味財産期首残高	3月末決算数字					2,501,157
一般正味財産期末残高						2,401,187
III. 指定正味財産増減の部						
1. 指定正味財産増加の部						
基本財産運用収益			230,000	230,000	0	230,000
受取寄付金			0	0	0	0
基本財産指定寄付金			0	0	0	0
その他の指定寄付金			0	0	0	0
指定正味財産増加計			230,000	230,000	0	230,000
2. 指定正味財産減少の部						
一般正味財産への振替額			230,000	230,000	200,000	430,000
指定正味財産減少計			230,000	230,000	200,000	430,000
当期指定正味財産増減額			0	0	△ 200,000	△ 200,000
指定正味財産期首残高	3月末決算数字					40,400,000
指定正味財産期末残高						40,200,000
IV. 正味財産期末残高						42,601,187

説明事項

- (1) 公益事業の運営収益は、特定事業準備金の定期預金利息
- (2) 寄付金収入は、その60%を公益事業収入に、その40%を法人管理費に分割計上する（令和2年度より）